

会員数(58・1現在)

逗子地区 144名

葉山地区 293名

大船地区 63名

合計 500名

58・1月

第126号

発行者

根岸 岳 萃

編 集

中 村 愛 岳

岩 崎 恵 岳

# 碩心会月報

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可  
神奈川 碩心会 発行

## 新しい年を迎えて

名誉会長 松 井 岳 洋

一九八三年の年頭に当り、碩心会の皆さんがご健祥で新春を迎えられましたことを、心からおよろこび申し上げます。

昨年はわかれら日本詩吟学院岳風会の社団法人認可十五周年(祖宗範岳風先生三十年祭と云う、学院史上特に記念すべき行事も滞りなく済み、今年よりはよいよ新しい心構えで学院永遠不滅の展望に立つて、伝統の誇りをもち全国同志の総力を結集し和合団結して大前進してゆこうと決意を新たにしております。どうか碩心会の皆さんは会長根岸岳萃先生のもと、更にお互いの吟枝の研鑽と共に車の両輪の如く心の修養を特に心し

て、輝かしい伝統と公益法人としての自覚と誇りをもち、道を求める冬の如き戯れさのうちには春風のようにななごやかな楽しさをお互いが謙虚に求め合い、和合一体となつていよいよ発展してゆこうではありませんか。皆さんのご健祥を心からお祈り申し上げます。



新春のごあいさつ

会長 根岸岳萃

輝かしく昭和五十八年の新春を、碩心会の吟友の皆さんが家族共々つつがなく迎えられましたことを衷心よりお慶び申し上げます。碩心会昨年は吟界にさきがけ、創立以来四十五周年の記念大会を皆さんの絶大なる協力のもとに盛大に開催することが出来ました。そして、長ハ間の念願であった会員数五百名の大台も達成、輝かしく新春を迎えましたこと又々喜ばしい限りであります。

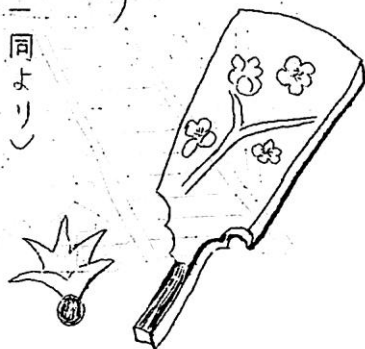
反面今年には経済的にはまだまだ明るい見通しではないようですが、このような時にこそ吟道を通じて不景気を吹き飛ばす気概が必要ではないでしょうか。行事も審査会、吟行会と予定されております。楽しく、仲良く、吟道を学んでゆくよう、皆さんの協力を特にお願いいたします。年頭のごあいさつといたします。

あけまして

おめでと

ごいそがし

(指導者一同より)



- |      |      |      |
|------|------|------|
| 松井岳洋 | 根岸岳萃 | 加藤岳相 |
| 三井雲岳 | 沼田光岳 | 下條亮岳 |
| 井沢潮岳 | 小峯桜岳 | 加藤圭岳 |
| 中村幸岳 | 竹石憲岳 | 千葉劔岳 |
| 千葉香岳 | 中村愛岳 | 鈴木萃岳 |
| 森田暁岳 | 鈴木孝風 | 守谷宗風 |
| 松野春風 | 杉山雪風 | 秋元梁風 |
| 佐野湧風 | 石渡桂風 | 矢島悦風 |
| 黒崎亨風 | 広瀬翔風 | 村田静風 |
| 伊藤峰風 | 白井寿風 | 白井麗風 |
| 上村象風 | 渡辺誠風 | 石津祥風 |
| 木村松風 | 寺脇歌風 | 立沢御風 |

◎58年度 主な事業計画

(総本部 関係 県本部)

- 3/13 才83回全国吟道大会 九段会館
- 7/17 選抜者吟道大会 読売ホール
- 10/29 才84回全国吟道大会 四国・高松
- 2/26 県本部初吟会 江の島ヘルスセンター
- 2/20 高段者審査会(へい八段) 平塚農業会館
- 2/27 (皆伝以上)
- 7/27 選抜者吟道大会(選抜者) (皆伝以上)
- 7/28 総会 才一地区担当
- 吟道 湘南地区吟道大会
- 6/12 横須賀才二地区吟道大会 鎌倉市民ホール
- 6/26 才10回青少年吟道大会
- 7/3 横須賀才一地区吟道大会
- 7/24 京浜地区吟道大会
- 10/10 全国大会参加吟行会 四国
- 10/16 指導者吟道講座 才二地区担当
- 10/23 才89回県本部吟道大会 京浜地区担当
- 10/26 納吟会

七桶岩(ハシバ磯)の由来

森戸の浜辺の中程に、突出た岩場があり、人々はここを七桶とハう。その昔、欲ばり婆さんがこの岩場で大蛸をみつけ一人占めし、毎日足を一本づつ切り取り、豊漁を喜んでいたのであるが、とうとう八日目になって、怒った大蛸は海中にひきずりこまれたという伝説があり、又の名をバンバ(婆)磯ともよばれている。

又一説に、昔ここには七桶堂というお堂があった。その霊域での殺生を戒めるための話ともいわれ、漁船の出入にもこの磯に船のふれることを恐れた。この岩場から少しはなれた小高いところに今も七桶地藏堂が残っており、一部の地元の人々が時折お詣りしている。近年この岩場に葉山町長作の桶ゆかりの俳句の碑が建てられた。

俳句 田中 高

春清々、七桶寺の昔かな

# 今年、は亥年



今年のエト、イノシシの分布は「西高東低型」で積雪量や森林の多少に関係があることが環境庁の調べでわかった。

イノシシ生息の南限は沖縄県西表島、北限は宮城県南部どまり。積雪が三〇センチを超える場所や森林の占める割合が10%を切る地域ではほとんど生息が確認されていない。

ただ生息地域はむしろ広がっていて、クマやシカなどが極端に減ってきている中で、唯一絶対の心配のない野生大型獣という。一回に十数頭生まれるという繁殖力のたまたもので、厳しい国際環境の中で生き延びる算段をしていくわが国にとって、最適のエトかも。

(朝日新聞より)

(入 会)

(下口支部) 福島哲市 葉山町下山口二六一〇

(電) 〇四六八一(75)一六五九七

(退 会)

61(大船B) 田所玉風 58(大船B) 村上勝利

## 編集後記

初詣りの様子がニュースで報じられて、今年には日本髪、振袖姿がほんとのまばらで、それにかわってジャンパー、ズボン姿が圧倒的に多いという。きびしい世相をまさに反映して、何か一つ盛り上げたい。

碩心会に於ては誰もが願っていた会員数が昨年12月に五百名の大台にのり、この新年号の会員数がなんと500名ジャスト、ちなみに500という数字は色々な意味で非常にラッキーな数字とされている。この500人を決して割らないうようにしたものだ。それと同時に内容的に充実した碩心会報にすべく、皆さんで心を合せてがんばりたいと思います。(愛岳)